

事業所名

児童発達支援 おひさまkids

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

28日

法人（事業所）理念		株式会社HUGHUGの「社会全体で子ども達を温かく守り育む環境を作りたい、子ども達が夢や希望を持って成長できる場を作りたい」という想いに基づき、運営をしております。県内外の同法人施設間の情報共有、言語聴覚士に委託している研修や訪問等により質の高い療育を提供出来る環境づくりに努めております。また、放課後等デイサービスも運営しており、「おひさま」内での引継ぎが可能な為、スムーズな移行が可能です。お子様への支援と合わせて保護者様への寄り添った支援、子育て支援を提供します。								
支援方針		生活自立や就園・就学準備を目指した早期療育を実践しています。診断の有無や障がいにかかわらず、早期療育で様々なスキルを身につけることは必ず未来につながっていきます。子どもたちが社会生活に適応していくための支援、そしてご家族の子育てのお手伝いができるような支援を目指しています。お子様に合わせた支援を行い、「楽しい」「出来た」につなげ自信がつかうように個別、小集団、集団での活動を計画、実施します。								
営業時間		平日 土曜日	10時	00分	から	16時	0分	まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>着替え、排泄、食事、歯磨き、手洗い練習等の活動を通して身辺自立。日常生活における基本的な動作の指導。</li> <li>健康状態の把握と対応・平常とは異なった状態に速やかに気づき必要な対応を実践する。（来所前には検温をお願いします）</li> </ul>								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>感覚遊びや、手先を使った遊び、姿勢づくりやボディイメージをつかみやすい運動、お手伝いなどで生活習慣のスキルを高めたり姿勢保持や話を聞く力を育てる。バランスコントロールや動作の理解と実施をしながら、身体を動かし興味のある幅を広げる。</li> <li>工作や制作活動・はさみ、のり、折り紙など様々な道具の正しい使い方を知り手先の巧緻性を高めながら完成を目指し達成感を味わう。</li> <li>パーティーションやイヤーマフを活用し視覚・聴覚への刺激を減少させ落ち着いて安心できる環境作りを行う。</li> </ul>								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の理解度、特性に合わせたプログラムや働きかけを行う。認知機能や行動に対する適切なサポートを通じて日常生活や学習での成功体験を積み重ねることを目的とする。</li> <li>スケジュールボード・タイマー・時感タイマー・絵カード等を一人一人に応じた形で利用する事で、課題への集中・行動、感情の理解・ルールの理解などの向上を目指す。</li> <li>本人の認知に合わせた働きかけや環境の調整により認知の発達を促し、適応行動を増やし情緒の安定を図る。・活動の中で様々な状況を設定し正しい状況判断が出来るように促す。</li> </ul>								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語聴覚士と連携を図り、必要な取り組みについて支援します。ことば（言語）の訓練を希望されている児童に対しては日程調整し個別に言語訓練を行います。</li> <li>児童が状況に応じた適切な行動や言葉を使い、自分の気持ちや考えを表現出来るように支援する事を目標とする。言葉の表出が難しい児童に対して→言葉カードの使用、絵カードを使った言葉遊びを通して挨拶や今の気持ちを伝える練習を行う。</li> <li>読み聞かせを行いシーンに応じた声や表情を同時に吸収することで感情が豊かになり創造力や知的好奇心を育て集中力の向上につなげる。自然とたくさんの言葉に出会い、語彙が増えコミュニケーション能力の向上につなげる。</li> </ul>								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びや課題の中で児童が他者と円滑なコミュニケーションを図り、関わり方や社会的なスキルを身につけることを目標とする。成功体験の積み重ねから自己肯定感を高める。</li> <li>集団や社会的なルールを理解・習得し他者との協力や他者を尊重する力を育む。</li> <li>色々な体験や経験を通して「出来た」等の喜びの感情表現や、他にはどんな事があるのかと思う探求心や好奇心を育てる。自主性を高める。</li> <li>困った事があった際には周囲に伝える事が出来る様に、SSTや場面の経験を通して練習を行う。また自分の気持ちの伝え方だけでなく相手の気持ちの理解が出来る様に取り組む。</li> </ul>								
家族支援		保護者面談、送迎時の情報共有、記録での活動報告・情報共有、連絡帳の活用 各関係機関との連携調整 困りごとがあれば、管理者や児童発達支援管理責任者に相談できる環境調整 卒園児の保護者を招いての座談会、茶話会			移行支援			各関係機関との連携を図り、情報共有、書面による情報提供 園への訪問		
地域支援・地域連携		幼稚園や保育園、こども園、他の児童発達支援、放課後等デイサービス、相談支援事業所等との情報共有 職場体験・理容ボランティアによる散髪 子ども支援部会への参加・地域のイベントへ参加（こども祭りへの参加）			職員の質の向上			日々の支援についての振り返り（毎日）（その後の支援に生かすため） 定期的な研修（zoom等を活用） ※法定研修・外部研修・防災研修・虐待研修、救急法等 同一法人内での移動勤務による研修 STの訪問指導		
主な行事等		各季節に応じたイベント（卒園旅行・お花見・芋ほり・七夕・ハロウィン、調理実習など）・外部への依頼…お正月イベント（獅子舞や傘回し等の伝統芸能体験）、リトミック、交通安全教室 外出行事（公園遊び、消防署見学、警察署見学、お買い物学習など）・ご家族参加型イベント…（夏祭り、クリスマス会、工場見学、フットサルなど） 避難訓練（火災・地震・不審者対応）								